

公益財団法人平塚市まちづくり財団令和２年度第４回理事会議事録 概要

令和２年９月１０日午後２時、２階会議室において、第４回理事会を開催した。

出席理事 ５人（理事総数７人）

井上純一、難波修三、高橋佳久、田中國義、丸山孜

出席監事 ２人

長谷川進、岩崎浩臣

議事録作成者

理事長 井上純一

司会者である総務施設課長が本日の理事会は理事７人中５人の出席を得ているので有効に成立した旨を告げた後、理事会運営規程第６条第１項の規定により井上純一理事長が議長となり議案の審議に入った。

理事長は、本日の議題は、議案として、「議案第１号 職員就業規程の一部を改正する規程」、「議案第２号 嘱託職員の給料の額等に関する規程の一部を改正する規程」、「議案第３号 田中國義理事の利益相反取引の承認」の３案件と、報告事項として、「理事長及び常務理事の職務執行状況報告（４～８月）」の１案件である旨を告げ審議に入った。

議案第１号 職員就業規程の一部を改正する規程

理事長は、今回の改正は、「雇用の分野における男女の均等な機会及び待遇の確保等に関する法律」などの一部改正により、いわゆるパワーハラスメントやセクシュアルハラスメントなどの防止に関する労働者の責務が明確化されたことなどから、必要な規定を整備するものとし、議案第１号別紙により説明した。

理事長が諮ったところ、議案第１号 職員就業規程の一部を改正する規程について、出席理事全員一致で原案どおり可決した。

議案第２号 嘱託職員の給料の額等に関する規程の一部を改正する規程

理事長は、今回の改正は、平塚市では、令和２年４月に、地方公務員法等の一部改正により、臨時・非常勤職員制度に代わり制度化された会計年度任用職員の報酬について、職務経験の年数に応じて決定することとしたほか、その算定の基礎となる月額改定が行われ、当財団の嘱託職員の給料は、平塚市に準じて定めていることから、職務経験の年数に応じた給料月額の体系に改めるとともに、その基礎となる給料月額の改定を行うこととし、議案第２号別紙により説明した。

理事長が諮ったところ、議案第 2 号 嘱託職員の給料の額等に関する規程の一部を改正する規程について、出席理事全員一致で原案どおり可決した。

議案第 3 号 田中國義理事の利益相反取引の承認

理事長は、当法人と、田中國義理事が代表となっているひらつか市民スポーツフェスティバル実行委員会との間で締結する第 8 回ひらつか市民スポーツフェスティバルでのスポーツ教室運営業務委託契約が利益相反取引にあたるため、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第 197 条において準用する第 84 条に基づき、この契約を締結することの承認を求めるものとし、議案第 3 号別紙により説明した。

理事長が諮ったところ、議案第 3 号 田中國義理事の利益相反取引の承認について、出席理事全員一致で承認可決した。ただし、田中國義理事は特別利害関係を有するので、議決権を行使せず、定数にも算入しなかった。

理事長及び常務理事の職務執行状況報告（4～8 月）

常務理事は、理事長及び常務理事の職務執行状況報告として、令和 2 年 4 月から同年 8 月までの事業実施状況等について、職務執行状況報告書により説明した。

長谷川監事から、コロナ禍において、スポーツ事業の YouTube での動画配信は非常に良い取組だが、それをどのように PR しているかという質問があった。理事長は、財団ホームページのほか、湘南ジャーナルやタウンニュースへの掲載を行っているが、今後さらに周知していきたいと回答した。

以上をもって議案の審議及び報告が終了したので、議長は閉会を宣し、午後 2 時 27 分閉会した。